

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、ご献体を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、ご献体を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

#### 「進化する医療光学技術に対応し得る消化器解剖図の作成」

##### 1) 研究の概要

消化器外科手術において腹腔鏡手術が普及し、内視鏡の拡大視効果により外科医に求められる解剖の知識は精細になってきました。これまでの解剖書は外科医の手術地図として不十分となっており、我々は従来のホルマリン固定法とより生体情報を温存できる固定法（Thiel 法）の 2 種類の方法で固定された御遺体を用いて詳細な解剖モデルの作成ができると考えています。Thiel 法は一般的には手術手技研修の御遺体に使用されています。そこで、全国で初めて手術手技研修センターを設立し、手術手技研修会を行うなど実績のある愛媛大学医学部解剖学・発生学講座と愛媛大学肝胆膵・乳腺外科学と共同でその御遺体を使用した解剖研究を行います。ホルマリン固定と Thiel 固定の御遺体の一部から組織標本を作成し解剖の解明に貢献したいと思えます。愛媛大学に献体された方々に敬意を払い生前の意思を尊重しながら、今後の医学の発展と手術を受けられる方々に少しでも還元したいと思っております。

##### 2) 研究の対象

愛媛大学の白菊会会員の方で、生前に手術手技研修等の臨床医学の教育および研究での使用に賛同していただき同意（京都大学の役割や本研究の内容は包括的同意内容に含まれると考えさせていただきます）を得た方の中で、2014 年 1 月から 2019 年 12 月の間に亡くなった方の御遺体を使用させていただきます。

##### 3) 研究の方法

御遺体の一部の組織標本を作成し、解剖の解明を行います。組織標本は京都大

学の消化管外科にて保管します。研究責任者および本研究の関係者は、本研究の実施に関わる記録と試料を研究終了または中止後 10 年間、又は当該研究の結果の最終の公表日から 10 年間のいずれか遅い日までの期間、適切に保管します。その後は焼却処分します。しかし、その御遺族からの引き渡しの要求があった場合はこの限りではありません。

#### 4) 研究予定期間

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の承認後の 4 年間で予定しております

#### 5) 個人情報保護について

研究実施に係るデータを取扱う際は、対象者の秘密保護に十分配慮します。個人を特定し得る情報は記載せず、登録番号を用い当該実施研究機関外の者が研究対象者を特定できないようにします。結果発表の際にはプライバシーが十分に尊重され、個人が特定できる情報が外部に公表されることは一切ありません。

#### 6) 研究に関する情報提供と本研究の拒否について

研究計画書および研究の方法に関する資料を入手閲覧できます(ただし、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます)。

本研究に関する苦情や問い合わせ、御遺族より参加の拒否を希望される場合は下記にご連絡ください。また、個人情報の開示や改定を要求される場合にも下記にご連絡ください。それによる不利益は生じません。

#### 7) 参加関連施設と問い合わせ先

- ・ 京都大学附属病院 消化管外科 研究責任者 坂井義治  
実施責任者 岡田倫明、中村達郎  
住所:京都市左京区聖護院河原町 54 京都大学消化管外科医局  
TEL:075-366-7595(平日9時～17時) FAX:075-366-7642
- ・ 愛媛大学大学附属病院 肝胆膵・乳腺外科医局 研究分担者 高井昭洋  
住所:愛媛県東温市志津川 愛媛大学肝胆膵・乳腺外科  
TEL:089-960-5327 (平日9時～17時) FAX:089-960-5329